

学校だより 熱 沙

＜発行＞
令和4年10月5日
発行責任者：校長
和田 政男

いよいよ熱沙祭, 練習にも熱が入っています

10月15日(土)の熱沙祭本番まで、10日ほどとなりました。3年ぶりに保護者の皆様も来校し参観できることで、子ども達の練習にも熱が入っています。

本校が子ども達に育みたい資質・能力は「探究力＝問題解決力・情報活用力」と「言語力＝コミュニケーション力・語学力」と捉えております(令和2年度に策定した本校のグランドデザインに明示)。そして、これらの資質・能力は、EC・Arabicを含む各教科学習で、生活科やミナレ学習で、日々の学校生活の中で意図的あるいは意図せずに行われている教育や指導の中で、そして熱沙祭や運動会の取り組みを通して育むという構想を描いております。仲間と共に工夫し、準備し、練習し、緊張の中で観客に成果を発表し、大きな達成感や成就感を味わう。熱沙祭を成功裏に終えた後、子どもたちが階段を一段上がるような成長を遂げる姿を、これまでもたくさん見てきました。

今年も、出来る範囲で精一杯の熱沙祭を子どもたちは創り上げます。練習の段階から子ども達は様々な苦労話や嬉しかったこと、悔しかったことを家庭に帰って話すことと思います。そのような会話を楽しみながら、本番の演劇を楽しみながら、子ども達の成長する姿を見守っていただければと思います。

新旧委員長引継ぎ式

10月4日の朝8:00からの「えがおの広場」では、2022年度の前期児童生徒会委員会活動をリードしてきた委員長が、後期児童生徒会の委員長にバトンを渡す、「新旧委員長引継ぎ式」が行われました。

旧委員長達は、前期の委員会活動をふり返り、成果と今後に託す思いを述べ、それぞれの委員会活動のファイルを新委員長達に手渡しました。ファイルを受け取った新委員長達はこれからの委員会活動への抱負を述べ委員会活動の一層の発展を誓いました。

これまでのDJSを引っ張ってきたG9の生徒たちはいよいよ高校入試に向かい、G8の生徒たちが今後のDJSをけん引していくこととなります。

↓ 新旧委員長引継ぎ式の様子



校内でのマスク装着の様子は？

9月29日より、校内においてもマスクの着用は必須ではなくなりました。また2学期初めにはコロナ陽性の報告も複数ありましたが、この2週間ほどは陽性の報告もなく落ち着いています。

校内でのマスク着用は任意になりましたので、多くの先生方は表情を見せるため、また授業での先生の声が明確に届くように、マスクを着用していません。

↓ 熱沙祭ポスターコンクールに応募された作品



一方、子ども達の方は、まだまだ心配な状況であることと、これまでの習慣もあり、7割程度がマスクを着用しているようです。

かつての日常がかなり戻ってきたように感じますが、未だコロナの脅威が完全に去ったわけではありません。校内の感染状況を注意深く見守り、引き続き必要な対策を実施して参りたいと思います。

新体力テスト

厳しい暑さもようやく和らぎ、校外での活動も徐々に出来るようになるこの季節、「新体力テスト」を行っています。日本の学校では春に行うところが多いようです。保護者の皆様も経験があることでしょう。50m走やシャトルラン、反復横跳びなど、あれです。

校内巡視をしながら子ども達の熱沙祭に向けての練習や新体力テスト、南中ソーランの練習などをながめ、ドバイにおける「実りの秋」を感じるこの頃です。

